

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語W I
科目基礎情報						
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	総合英語Evergreen、English Grammar 25 Lessons、25Lessons Workbook、教員によるハンドアウト					
担当教員	成田 智子					
到達目標						
1. 新しい文法のルールを参考書を読むことによって理解し、演習問題を解き、その文法知識を使って発話や作文をすることができる。 2. 授業内で英語で教師の英語による発話を理解し指示に従ったり、英語でペアあるいはグループ活動を行うことができる。 3. TOEIC Bridge で 1 3 0 点以上の英語力を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文法書を読んで基本的なルールを自習し、教科書レベルの文法問題を8割以上解くことができる		文法書を読んで文法ルールを自習し、教科書レベルの問題を6割以上解くことができる		文法書を読んで自習が出来ず、教科書レベルの問題の正答率が6割を下回る	
評価項目2	それぞれの文法事項を使ったアクティビティを通してコミュニケーションを十分に取ることが出来る		それぞれの文法事項を使ったアクティビティを通して概ねコミュニケーションを取ることが出来る		それぞれの文法事項を使ったアクティビティを通してコミュニケーションを取ることが出来ない	
評価項目3	それぞれの文法事項を使って正しい文を作文できる		それぞれの文法事項を使って概ね正しい文を作文できる		それぞれの文法事項を使って正しい文を作文できない	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4						
教育方法等						
概要	英語の4技能の基礎となる文法の概要を身につける。文法を単なる知識としてではなくコミュニケーションのツールとして使うための基礎を身につける。					
授業の進め方・方法	英語を道具として使用する活動を行い、運用能力を高める。文法参考書を自ら積極的に使用し、新しい文法ルールを理解することに役立てることが出来るようになる。ペアあるいはグループ活動で協同的に学習する際にも英語で行い、今後英語をコミュニケーションツールとして使うきっかけとする。 文法演習問題にも取り組み、文法ルールの理解を確認する。 定期試験に加え、パフォーマンステストを行うことによってコミュニケーション能力伸長の確認を行う。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業概要を理解する（テキスト、参考書、ワークブックの使い方）、Intor1～5	
		2週	Lesson 1～3 動詞と時制		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		3週	Lesson4、Plus 完了形		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		4週	Lesson5 完了形（2）		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		5週	Lesson6～7 助動詞		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		6週	Plus 助動詞		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		7週	テスト直前演習		質疑応答	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	テスト直し		グループ活動で学習内容を定着させる	
		10週	Lesson10～11 不定詞		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		11週	Lesson 12		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		12週	Plus 不定詞①②		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		13週	Lesson13 動名詞 Plus 不定詞		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文	
		14週	Plus 動名詞と不定詞		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文	
		15週	第1回パフォーマンステスト		ペアによる対話で学習の成果を確認する	
		16週	テスト直し		グループ活動で学習内容を定着させる	
後期	3rdQ	1週	Lesson8～9 態		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		2週	Plus 態		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		3週	Lesson14 分詞（1）		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		4週	Lesson15 分詞（2）		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	
		5週	Lesson16 分詞（3）		参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する	

		6週	Plus 分詞	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		7週	テスト直前演習	質疑応答
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	テスト直し	グループ活動で学習内容を定着させる
		10週	Lesson22 仮定法（１）	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		11週	Lesson23 仮定法（２） Plus 仮定法	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		12週	Lesson19～20 関係詞（１）（２）	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		13週	Lesson21 関係詞（３）	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		14週	Lesson17～18, Plus 比較	参考書とテキスト、ワークブックにより文法の理解、TASK活動、対話、英作文で該当の文法事項を理解する
		15週	テスト直前演習	質疑応答
		16週	第２回パフォーマンステスト	ペアによる対話で学習の成果を確認する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	パフォーマンステスト	英作文	予習・復習	合計
総合評価割合	50	20	20	10	100
基礎的能力	50	20	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0